

年頭あいさつ

いよいよ合併



横芝町長 伊藤 齊紀

新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年も世界的には災害の多い年でございました。観測史上最大規模のハリケーンカトリナにより、アメリカが大災害を被り、パキスタンでは、カシミール地方で大地震が発生し、大きな被害を被っております。

一方、国内におきましては、一年は新潟中越地震など、各地で大きな災害が発生致しましたが、昨年は、

宮城地震をはじめ、肝を冷やすような地震が度々発生し、一部の地域に被害をもたらすことはありましたが、全国的には、どちらかと申しますと平穏な年であったと思います。

横芝町も、7月という大変早い時期から、台風対策に追われましたが、特に大きな被害もなく安心したところでございます。

また、この他にも、昨年は「劇場型選挙」と言う言葉が流行語の一つになりましたが、総選挙が9月に行われまして、自民党が空前の大勝利を収め、郵政民営化をはじめ、小泉総理大臣の進める三位一体の改革に弾みのついた年でもありました。

さて、私も町長就任以来の信条である「しっかりと聞いて、しっかりと実行」をモットーに、合併問題や中学校建設問題等の重要問題を中心に、全力で取り組んで参りましたが、今年で4年目を迎えることとなりました。

一昨年から最優先で取り組んで参りました光町との合併につきまして、は、事務事業の調整をはじめ準備作業も順調に進みまして、いよいよ来たる3月27日には、新しい町「横芝

光町」が誕生致します。

悠久の歴史を流れる栗山川を境に、遠くは上総の国と下総の国に別れ、その後も山武郡と匝瑳郡に別れ、今日まで別々の道を歩んで参りました両町が、山武郡の横芝光町として、新町建設計画に定める合併後の町の将来像である「栗山川の流れがはぐくむ 人・自然・文化が共生するまち」の実現をめざしまして、新しいまちづくりを始める、正に歴史に残る記念すべき年となります。

合併まであと85日、両町合せて人口2万7千弱の小さな合併ですが、来たる3月27日には、無事合併を成し遂げまして、小さくてもキラリと光る町づくりを目指して参りたいと存じますので、引き続き住民の皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、横芝中学校校移転建設事業や粟嶋橋架け替え事業などの重要事業をはじめ、現在実施中の事業や計画中の事業は、全て新町に引き継がれることとなりますが、中学校につきましては、地権者の方々をはじめ、関係者の皆様方のご理解とご協力により、既に用地の取りまとめをほぼ

終了致しまして、昨年10月から敷地造成工事を進めているところでございます。

中学校建設も、新町に引き継がれることとなりますが、今年、建設工事のために必要な基本設計や実施設計等を進め、来年中には、校舎等の建設工事に着手致しまして、平成21年1月には、開校できるようにする予定でございます。

私も市町村長は、法律の規定により、合併の日の前日で身分を失うこととなりますが、3月27日には無事合併できますように、また、地方分権の時代を迎え、市町村間の競争の時代と言われる中であつても、この合併により、横芝町が更なる発展を遂げられますように、全力を尽くして参りたいと存じますので、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年の干支は戌ですが、犬は勤勉努力家で、人との付き合いも古く、元気で親しみ深い動物ですので、戌年にあやかりまして、皆様方の益々のご繁栄とご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

